

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/10/08

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.49	0.06
JPY/THB	0.2139	-0.0019
USD/JPY	151.90	1.55
EUR/THB	37.89	-0.10
EUR/USD	1.1657	-0.0054
USD/CNH	7.146	0.002
SGD/THB	25.13	0.01
AUD/THB	21.38	-0.08
USD/INR	88.78	-0.01
USD Index	98.58	0.47

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.221	0.012
10Y (THB)	1.410	0.010
5Y (USD)	3.701	-0.033
10Y (USD)	4.123	-0.029

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	3,976.6	28.1
WTI (Oil)	61.73	0.04
Copper	10,761.0	106.5

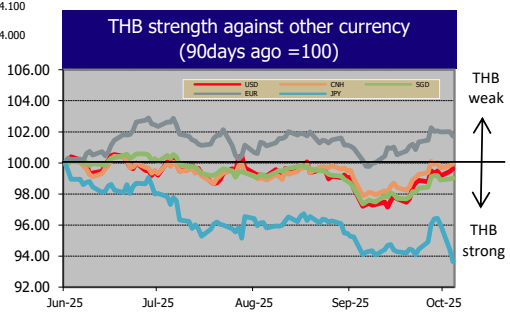
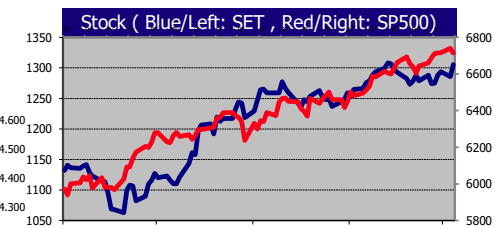
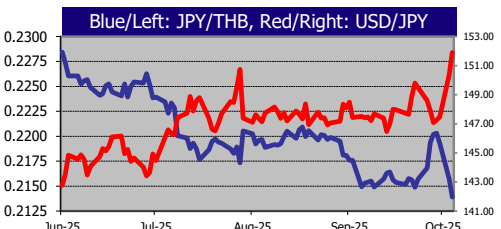
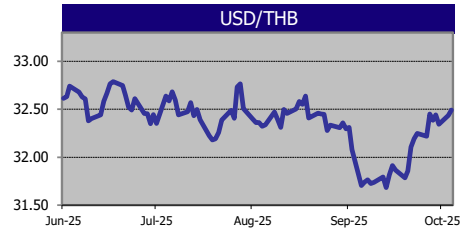
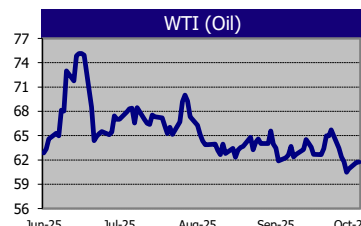
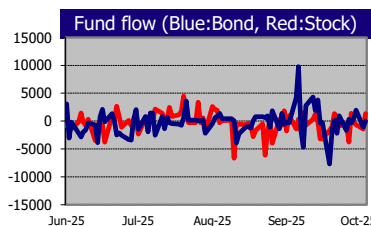
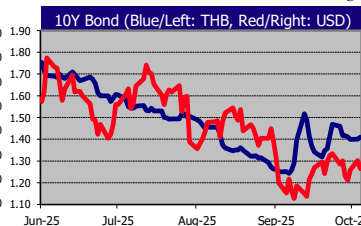
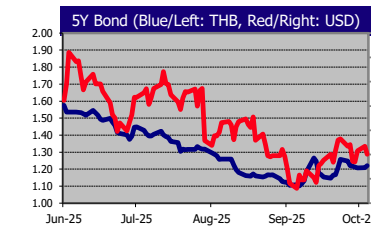
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,305.24	19.60
NIKKEI (JP)	47,950.88	6.12
DOW (US)	46,602.98	-91.99
S&P500 (US)	6,714.59	-25.69
SHCOMP (CN)	3,882.78	0.00
DAX(GER)	24,385.78	7.49

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	1,330	2732.2
Bond net flow	(1)	1051.2

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは32パーツ半ば付近の水準でレンジ推移。バンコク時間午前中、「440億パーツ規模とされる経済刺激策をタイ内閣が承認」との報道が確認されるも、翌日にタイ中銀による金融政策会合を控える中で相場への影響は限定的となり、32.50を挟んだ狭いレンジでの推移が継続。海外時間に入ってもトレンドは変わらず。米9月NY連銀1年先インフレ期待が前回から上昇していることが確認されるも、ドルパーツ相場への影響は軽微なものに留まり、32パーツ台半ばでの推移が続き、そのまま32.49レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

昨日のドル円は続伸。150円台前半の水準で取引を開始すると、週初から続く上昇基調を引き継ぎ、底堅く推移。本邦当局者からの円安牽制発言が確認されるも、勢いは止まらず。海外時間にはおよそ6か月ぶりに151円台に乗せると、米インフレ関連指標が前回対比上昇したこともあり、上昇の勢いは加速。終盤にかけては一時的に152円台を付ける場面を見た。ただ、その後は小幅に反落。151円台後半まで戻し、結局151.90レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

2025年度上期のタイ経済を振り返ると、財政制約が強まる中、主な成長エンジンが勢いを失いつつあり、国内外双方の課題が深刻化している状況と言えます。国外の主な課題としては、輸出、パーツ高、観光があります。まず、輸出に関しては、2025年前半は米国関税前の前倒しや金輸出増で堅調でしたが、8月以降は関税発動により減速。米国向けは電子機器以外ではマイナスとなり、今後も縮小が見込まれています。パーツ高に関しては、今年是对ドルで8%以上上昇し、過去4年間で最も強い水準にあり、輸出競争力や観光回復の足かせとなります。観光に関しては、昨年比減少も中国人観光客の減少幅は縮小。アジア域内での競争激化、パーツ高による価格競争力低下の恐れもある中、回復が脆弱であることが示されています。一方、国内の主な課題としては、企業収益、労働市場、財政があります。企業収益に関しては、特に中小企業中心に収益回復が鈍く、大企業への所得集中が進むものの、各社が直面するコスト改善圧力は引き続き強い為、成長に向けた民間投資は今後も緩やかな伸びにとどまる見込みです。労働市場に関しては、失業率や低賃金、就業時間減少が顕著で、家計所得も減少。財政に関しては、歳入は伸び悩み、公的債務上限に近づく利払費や高齢化関連福祉支出が増加する中、財政持続可能性や国債格下げリスクが高まっています。斯かる環境下、本日はウィタイ総裁就任後、初のタイ中銀の金融政策決定会合が予定されています。本会合では、既に7割以上の確率で25bpsの利下げが折り込まれ、コンセンサスになっておりますが、上記課題解決には金融政策に加え、新政権による持続的かつ実効的な経済政策にも期待がかかります。(福島)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.